

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成28年9月15日 発行
毎月 1回15日発行
公益社団法人 全国漁港漁場協会
編集兼発行人 橋本 牧
東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階
電話 東京(5114)9981
定価 1部 70円
(会員の購読料は会費の中に含む)

29年度水産基盤整備予算概算要求

前年度比20%増840億円

水産庁は8月26日、平成29年度水産予算概算要求の概要を公表した。水産関係の概算要求は、総額2060億500万円、対前年度比15.5%増となった。公共予算については、合計859億4千万円と前年度比19.7%増を要求し、このうち水産基盤整備は839億8千万円(新しい日本のための優先課題推進枠)として、要額209億9300万円を含む。20.0%増、漁港沿岸は8億4500万円、20.0%増、災害復旧は1億1300万円の前年同額となっている。

は、被災地の復旧・復興状況を踏まえ、水産関係を含め、一括して復興行が引き続き必要の対策を要求しており、これを併せて水産基盤、海洋の整備を実施する。水産予算については、たつての主要な課題としては、次の検討課題が掲げられている。○浜の担い手・地域活性化対策 ○資源管理・資源調査の強化 ○漁業経営安定対策と漁業構造改革の推進 ○水産物の加工・流通・輸出対策 ○水産多面的機能の発揮対策・離島漁業の再生支援 ○増養殖対策 ○捕鯨対策 ○漁場環境保全、技術開発

○水産基盤整備事業(公共) これらの対策に必要な事業予算として総額2060億500万円の概算要求が組まれた。○水産基盤整備事業(水産基盤整備) 漁港漁場整備に密接に関係する水産基盤整備事業については、次の対策を重点的に推進することとしている。○国産水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策 国産水産物の輸出促進及び国内市場における競争力強化を図るため、特に流通・輸出拠点漁港における効率的な衛生管理対策、また、海域全体の生産力の底上げなど資源回復のための水産環境整備を推進する。

平成29年度水産予算概算要求の概要

Table with 4 columns: 事 項, 平成28年度予算額, 平成29年度要求・要望額, 対前年度比. Rows include 合計, 非公共, 公共, 一般公共, 水産基盤整備, 漁港沿岸, 災害復旧.

(注) 1.金額は関係ベース。2.計数整理の結果、異動を生じることがある。3.計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。4.上記の他、農山漁村地域整備交付金(水産関係分)12,045百万円がある。

※東日本大震災復旧・復興対策は、水産関係を含め一括して復興行より要求される。

平成29年度水産基盤整備事業概算要求の概要

Table with 5 columns: 事 項, H28*当初予算, H29*概算要求(一般合計), 要額, 要望額, 合計, 対前年比. Rows include 水産基盤整備事業, 水産物供給基盤整備, 水産資源環境整備, 水産基盤整備調査(直轄・補助), 作業船整備費, 後進地域補助率差額.

*1 要望額とは、「新しい日本のための優先課題推進枠」としての要求額である。*2 計数は、四捨五入によっているので、端数においては合計とは一致しない場合がある。

水産基盤整備予算概算要求について



水産庁漁港漁場整備部長 高吉晋吾

水産基盤整備予算の平成29年度概算要求については、「新しい日本のための優先課題推進枠」としての要望額を含み、839億8千万円(対前年度比120.0%)を要求しています。これに、漁港沿岸及び災害復旧の予算を加えた水産関係公共全体の概算要求額は859億4千万円(対前年度比119.7%)となっています。このほか、農山漁村地域整備交付金(水産関係分)及び東日本大震災の被災地復興対策(復興行計上)があらわれます。次に、平成29年度概算要求に盛り込んだ主要内容について説明します。

- 第1は、水産物の輸送促進に重点をおいた衛生管理対策です。輸出の促進や国内市場の競争力強化に向け、流通・輸出拠点漁港における一貫した衛生管理体制の強化を図っています。また、東日本大震災の被災地の復興については、引き続き、災害復旧等と一体となつて、被災した漁港の地盤沈下対策、漁場の生産力の回復のための整備等を推進し、早期の復興を目指します。今後とも、我が国水産業を漁村の発展のために、その基盤となる漁港・漁場・漁村の整備に必要な予算の確保と断行を行い、漁港施設の充実を図るべく、全国の関係者の皆様方と力を合わせて努力して参る所存です。この支援のほどよろしくお願い致します。

水産基盤整備事業(公共)

平成29年度予算の考え方

【平成28年度概算要求額: 83,982(89,985)百万円】

水産日本の復活のため、以下の対策について重点的に推進。
(1) 輸出促進に重点をおいた流通・輸出拠点漁港の品質・衛生管理対策
(2) 海域全体の生産力の底上げを目指した水産資源の回復対策
(3) 国土強靱化に資するための漁業地域の防災・減災対策
(4) 漁港施設の長寿命化対策や施設の有効活用等による漁港ストック効果の最大化

Three columns of diagrams and text detailing strategies for: 1. Quality and hygiene management of flow and output base ports, 2. Sustainable water resource recovery, and 3. Disaster prevention and disaster relief in fishing areas. Includes images of port facilities and maps.

漁港ストック効果の最大化

Diagram showing the maximization of fishing port stock effects through measures like extending facility lifespan, efficient use of equipment, and cost reduction.

水産物流通機能高度化対策事業(拡充)

「流通・輸出拠点漁港」の品質・衛生管理対策

国内水産物の消費・輸出拡大に向け、流通・輸出拠点漁港における一貫した衛生管理体制の強化を図るため、荷ばき所と機能上一体不可分な「製氷施設」及び「冷凍・冷蔵施設」の整備を推進。

Diagram illustrating the integrated management of flow and output base ports, showing the flow from production to processing and export, with integrated cold storage and ice-making facilities.

水産資源を育む水産環境保全・創造事業(拡充)

～効率的な水産環境整備マスタープランの推進～

複数都道府県にまたがる広域的な海域において、効率的かつ効果的な漁場整備のため、国が主体となって調査・実証試験、「水産環境整備マスタープラン」を策定するとともに、当該マスタープランに基づき、地方公共団体等が連携し漁場整備等を推進する体制を整備。

Diagram showing the implementation of water production environment conservation and creation projects, including surveys, master plan development, and implementation by local governments.

Two case study diagrams: 1. Aomori Prefecture (Aomori Bay) showing the implementation of a master plan for the Aomori Bay fishing ground. 2. Iwate Prefecture (Iwate Bay) showing the implementation of a master plan for the Iwate Bay fishing ground.

1. 平成29年度漁港海岸事業関連予算概算要求の概要

概算要求額 845百万円 (対前年度比 1.200)

Table showing budget requirements for fishing port and coastal projects. Columns: Project Name, FY28 Budget, FY29 Budget, Ratio. Rows: Coastal projects, Safety equipment, etc.

(注1) 計数は、四捨五入のため、諸数において合計とは一致しない場合がある。
(注2) このほか、農山漁村地域整備交付金(水産関係)12,045百万円があり、地方の要望に準じて海洋保全施設の整備に充てることとなる。
(注3) このほか、被災地復興対策(復興行計上)として、10,787百万円の内訳があり、東日本大震災復興特別会計において対応。

2. 平成29年度災害復旧事業予算概算要求の概要

概算要求額 1,113百万円※ (対前年度比 1.000) ※被災地分 51,848百万円を除く。

Table showing budget requirements for disaster recovery projects. Columns: Project Name, FY28 Budget, FY29 Budget, Ratio, Affected Area. Rows: Disaster recovery projects, etc.

(注1) 被災地分は、東日本大震災復興特別会計に係る分である。〈復興行計上〉
(注2) 計数は、四捨五入のため、諸数において合計とは一致しない場合がある。

広域フロンティア漁場整備事業(新規)

～フロンティア漁場整備事業と連携した沖合漁場整備の推進～

フロンティア漁場整備の保護・増進効果を高め、沖合資源の更なる増大を図るため、国がフロンティア漁場整備を実施する海域(排他的経済水域)及びその隣接海域(領海)において、フロンティア漁場整備と都道府県等が実施する漁場整備を一體的に推進。

Large diagram and text block detailing the new wide-area frontier fishing ground development project, including objectives, implementation methods, and expected outcomes.

ストック効果の最大化に向けた漁港の機能分担・有効活用推進事業(拡充)

漁港ストックの適正化やストック効果の最大化に向け、漁港機能の集約化を図る一方、既存施設の有効活用等を一層促進し、施設の維持・更新費の増大の抑制を図る。

Diagram and text detailing the expansion of fishing port functions and effective use of facilities, including strategies for stock optimization and facility maintenance.

Vertical banner for '漁港往来' (Fishing Port Travel) with dates from August 1st to August 31st, listing various fishing port associations and their presidents.

